

フォワーディング委員会の平成20年度事業調査報告書 「アセアン物流事情調査 その3」が完成に近づく

フォワーディング委員会

フォワーディング委員会が平成18年度から進めているアセアン物流事情調査は1年目のタイ、2年目のベトナムの後、島嶼国のインドネシアとクロスボーダー調査を継続する意味からラオスをその対象として平成20年11～12月に実施した。その調査報告書の作成作業は順調に進んでおり、年度内の発刊を目指し、最終段階に入っている。ここではその目次を紹介するに留めるが、アセアン経済統合の基軸国—インドネシアの現在と、東西回廊・南北回廊というアセアンの大動脈が国土を縦・横断し、天然資源にも恵まれているラオスに関するレポートを近々お届けする。乞うご期待である。

(目次)

第I部 インドネシア

第1章 インドネシアの概況

1. 経済状況
2. 外国投資
3. 物流概況

第2章 タンジュンプリオク港湾事情

1. ターミナル概況と問題点
2. 作業場の問題点
3. 所要時間調査
4. 港湾周辺ICD

第3章 道路

1. 概況
2. 問題点
3. 所要時間調査
4. 自動車輸送調査
5. 鉄道輸送

第4章 航空事情

1. 概要
2. 問題点

第5章 通関制度

1. 概要

2. 通関フロー

3. 所要時間

4. 問題点

参考資料1 ジャカルタ・ジャバン・クラブ
通関調査結果

参考資料2 ジャカルタ・ジャバン・クラブの
通関制度改善の申し入れと
経過(レビュー)

第6章 フォワーダー事情

1. フォワーダー規制

2. 実務面の問題

3. 保険会社から見たインドネシア物流の
リスク

参考資料3 (フォワーダー規制)

第II部 ラオスをめぐるクロスボーダー輸送事情

1. ラオスの概況

2. ラオスの運輸概況

3. 南北回廊

4. 東西回廊

5. ビエンチャン／タイ輸送